

滑川西地区の主な提言等と回答要旨（H28春に開催の「市長と語る会」で）

| 提言等の項目 | H28に開催の「市長と語る会」 | |
|---------|---|--|
| | 皆さまからいただいた主な提言等 | その際の回答要旨 |
| ①側溝等の除草 | 領家町内の世帯数が減少しているなか、側溝の除草等を町内で行っているが、除草剤の支出が厳しいので考慮いただきたい。 防潮堤においても、亀裂から草木が生えてきているほか、海岸ベリも草木が繁茂したので対応してほしい。 また、八幡堂川沿いについても良いウォーキングコース等となっているが、草が繁茂している箇所があるので対応してほしい。 | 県道の側溝、防潮堤、海岸ベリのいずれも県の所管となっていますので、除草及びクラックの補修について対応されるよう県に伝えます。 |
| ②空き地の除草 | 解体した空き家の更地に雑草が生えてくるが、そういった更地の中に非常に細かく分筆されている箇所があり、所有者が判然としないため、誰に連絡すれば良いか分からない。 こういった箇所における除草剤の提供をいただきたい。 | 土地を含め空き家を市に寄付いただいた箇所については、町内で管理いただいていることから、除草剤をご提供しているところです。 ご意見のあった箇所等につきましては現地を確認させていただき、検討させていただきます。 |
| ③自主防災組織 | 各町内に防災のリーダーを配置してほしい。 また、そういった方を県の講習会に参加させるなど、養成をしてほしい。 | 自主防災組織については、142町内の中で112町内と約8割、人口比でいうと92～3%が組織化されていますが、ただ組織を作ったのではなく、常に避難場所等を頭に入れておくことが必要と考えています。 現在、市内に20数名の防災士がいるほかは、防災アドバイザーが5名、うち2名が西地区にいらっしゃいます。 これらの方が各地区に数名ずついるのが望ましいと考えていますので、今後、1人でも多く発掘し、役割を担っていただくことをお願いしたいと考えています。 また、防災士が町内にいない場合や、もしいるとしても実際に災害が起こったら対応できないことがあるかもしれません。そこで重要なのが、その時の町内の班長が班の世帯の状況等を把握することだと思われまます。 これは、実際に班長が班員の安否を素早く把握しているケースがあるからで、各町内においても知っておいていただきたいと思ひます。 |
| ④資器材 | 町内に設置してある防災用資器材の位置、内容について町内で把握していないケースがあるので点検し、場所を示していただきたい。 | 資器材の内容については、毎年の訓練等で町内の方に何が入っているか、どこに設置されているのか把握いただくことが重要と考えています。 また、市で設置したものと町内で設置されたものがありますが、何が入っているか分からない場合はお手伝いさせていただきますので、お問い合わせください。 |
| ⑤発電機 | 防災用の発電機を西地区自治会連合会として3台、西地区町内全体では7台、加島町3区は町内の補助金で2台もっているが、ほとんどが動かない。 これらにおいて、町内では毎年1台ずつしか直す予算がないので、維持管理する費用を補助いただきたい。 | 発電機は農機具同様、メンテナンスのため1年間に最低でも2回、できれば2～3ヶ月に一度はエンジンを掛け、点検・整備してください。 維持管理の補助については、自主防災組織制度の中で補助がありますが、予算に限りがあるので、個別にご相談ください。 また、防災士や防災アドバイザー等にもそういった点も指導いただきたいと考えています。 |

滑川西地区の主な提言等と回答要旨（H28春に開催の「市長と語る会」で）

| 提言等の項目 | H28に開催の「市長と語る会」 | |
|----------|--|---|
| | 皆さまからいただいた主な提言等 | その際の回答要旨 |
| ⑥遊歩道等の整備 | <p>上市町と小森・黒川での遊歩道について基本計画を策定すると聞いたがどのような内容か。</p> <p>既存の遊歩道のほか、観光・歴史・文化等において魅力のある箇所が東福寺野周辺に多くあるが、それらが点在していたり、荒廃していたりするので、これらを整備し、繋がりのある施策を。</p> | <p>上市町と協働で小森・黒川間において遊歩道を整備する方向で検討しており、今年度計画を策定し、来年度以降整備していきたいと考えています。</p> <p>ご提言の観光・歴史・文化等の構想については今後、市で検討したいと考えています。</p> |
| ⑦いをのみ公園 | <p>いをのみ公園内のせせらぎに積んである川石に隙間があり、蛇の住処となっているので、子どもたちにとって危険のないようにしてほしい。</p> | <p>川石については、すぐに現地を確認します。</p> <p>子どもたちの遊び場、ビオトープとして整備しましたので危険のないよう改善します。</p> |
| ⑧サイレン | <p>火災予防運動でサイレンを鳴らさなくなったのはなぜか。</p> <p>啓蒙のためにも必要では。</p> | <p>実際の火事が起こった際のサイレンは、東部消防組合で遠隔により鳴動できるほか、各分団の詰め所で手動により鳴動させることができ、各分団長にはその旨指示しています。</p> <p>啓蒙用のサイレンについては各消防分団の判断で鳴らしていただいているところですが、鳴らさないようにという指示はしておりませんので、今一度ご確認をお願いします。</p> |
| ⑨中滑川駅前 | <p>中滑川駅前の再開発について、市で全ての計画を行うのではなく、住民の意見を協議会等で反映させてほしい。</p> <p>その際は、地元住民のほか、地鉄、学識経験者、若い人等も参加させてほしい。</p> | <p>中滑川駅前については、市の都市計画マスタープランでは、にぎわい創出のエリアとなっています。</p> <p>協議会等については、今後設置を検討しており、皆様にも参加いただき、ご意見をお伺いしたいと思いますが、計画が白紙のままご意見をお伺いしても建設的な協議にならないと考えられますので、市である程度の方向付けをしてからと考えています。</p> |